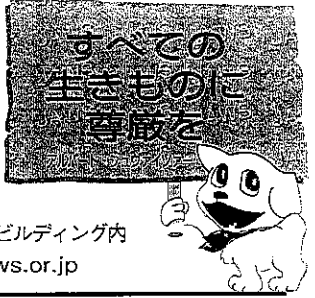


発行人:麻生 泰
編集人:山下陽司
山口千津子
編集:平山企画舎



Japan Animal Welfare Society

発行/社団法人日本動物福祉協会 〒106-8663 東京都港区元麻布3-1-38 第5谷沢ビルディング内
TEL (03) 3405-5681 FAX (03) 3478-1945 ホームページ http://www.jaws.or.jp

主な内容

- RSPCA セミナー受講..... 1-3
- カレンダー写真募集..... 3
- ランダル・ロックウッド博士講演会 4-5
- セミナーのご案内..... 5
- 動物愛護作文優秀作品..... 6
- 事務局から・ご寄付者..... 7
- ジョーズジュニアコーナー..... 8

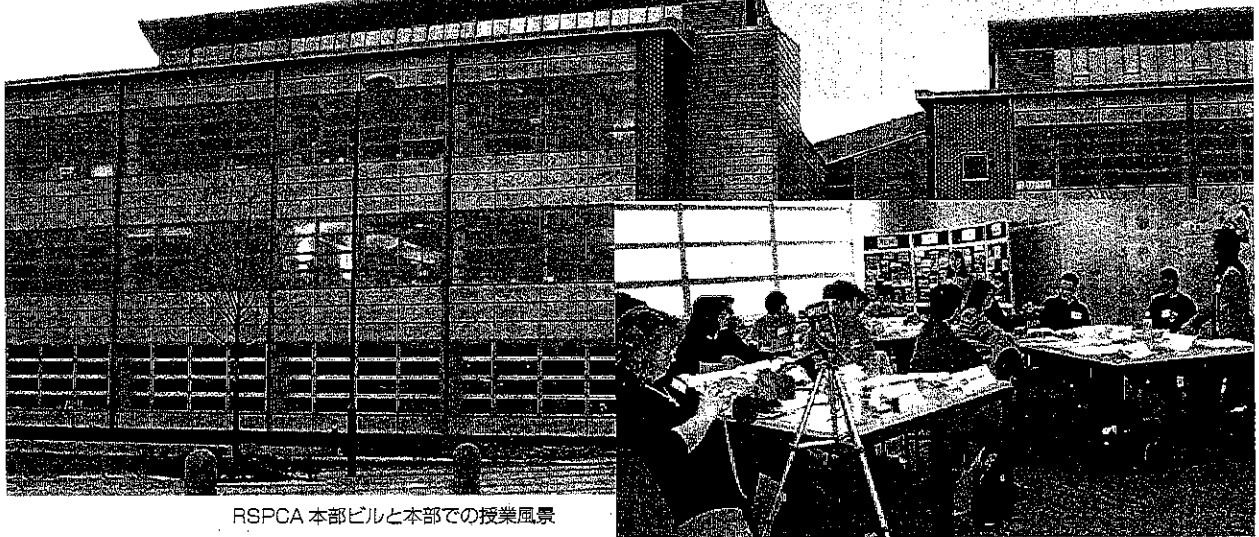
JAWSREPORT

日程及びカリキュラム

- 1月26日(月)
 - 午前:オリエンテーション/RSPCAの概要/RSPCA インターナショナルの活動について
 - 午後:動物の福祉とは—基本概念/英国の動物保護関連法の概略
- 1月27日(火)
 - 午前:RSPCA インспекターの活動と事例/通報の調査—5フリーダムに則った動物福祉のアセスメント
 - 午後:査察の手法—査察のケースファイル(動物虐待の典型的例とケース記録)
- 1月28日(水)
 - 午前:RSPCA Southridge Animal Center 訪問視察
 - 午後:RSPCA London North Animal Hospital 訪問視察
- 1月29日(木)
 - 午前:動物実験について(RSPCAのポリシーとUKの問題)/フリーダムフード
 - 午後:査察時の話・質問の手順 NHKスペシャル「英国アニマルポリス」
- 1月30日(金)
 - 午前:査察に関するQ&A/教育について/安楽死について
 - 午後:アニマルセンターに関するQ&A—今回のコース内容についての評価と討論
- 1月31日(土)
 - バタシー・ドッグズ・ホーム訪問視察
- 2月3日(月)
 - ウッドグリーン・アニマルシェルターズ訪問視察

【海外セミナーツアー】 第1回 RSPCA 短期集中プログラム

ショートコースを受講



RSPCA 本部ビルと本部での授業風景

「動物の愛護及び管理に関する法律」に定められた動物愛護担当職員と動物愛護推進員の制度は、動物との共生を進める法改正の目玉の一つとしてその制度の確立、実施に期待がかかっております。法の目指すところが実現されるかどうかは、制度の確立と同時にその任にあたる方々の動物福祉に対する意識が重要なポイントとなります。

そこで、1824年の設立以来一貫して動物を護り、人々の間に動物福祉の意識を高め、英国を動物福祉の先進国といわれるまでに伸展させた立役者であるRSPCA(英国王立動物虐待防止協会)から、その動物福祉について多面的に学び、日本の動物福祉の向上に役立てたいと、RSPCAにおける短期集中セミナー・ショートトレーニングコースを企画・実施いたしました。平成16年1月25日から11日間のセミナーツアーで、RSPCAにおけるコースの他、2カ所(郊外型と都会型)のアニマル・シェルターを訪問いたしました。山崎恵子先生に通訳として同行していただき、しつかり、日本語で理解できたと思います。参加者は地方自治体の職員・動物愛護推進員、動物病院スタッフや動物関係学校講師等21名でした。その内容を要約し、ここに報告いたします。

授業内容要約

◎RSPCAの概要

1824年設立(世界最古の動物福祉団体)、1840年、Victoria女王からRoyal(王立)の使用許可をいただく)

■RSPCAの使命

合法的な方法でもって虐待を防止し、動物福祉を推進してすべての動物の苦痛を削減させる。

■RSPCAの原則

脊椎動物と一部の無脊椎動物は感覚を持ち、痛みや苦痛を感じるという徹底した科学的根拠に基づく。我々は動物が苦痛を感じているかどうか定かではない場合、動物にとって有益になるように判断しなければならぬと考える。RSPCAは個々の動物の利益を保護することが重要であり、それを保証する責任は人間にあると考える。

- ◆本部 ホーシャム市
- ◆職員1200名(本部350名)
- ◆動物保護施設153
- ◆獣医病院17
- ◆支部1182

◆会員190000名(内ボランティア7000名)

◆サポーター1150万人

◆年間収入11約8000万ポンド(約160億円)内60%は遺産

◆年間支出11約8000万ポンド(約160億円)慈善団体であり、政府からの資金援助はない。

◆活動(抜粋)

◆査察部

◆査察員11330名

◆動物保護員1150名

◆市民からの電話11約150万件(年間)

◆虐待の通報11約12万件(年間)

◆救護動物111000頭以上(年間)

「2002年のデータから」

◆査察(家畜市場・ペットショップ、農場等)118000カ所以上

◆口答警告114700カ所以上

◆告訴11910名

◆有罪判決112000件(裁判に持っていった事例の96%)

◆懲役刑1164人(執行猶予も含む)

◆飼育禁止命令11880件

◆動物の保護・健康管理(2002年)

◆治療1125万頭以上

◆縁組

犬11約23000頭

猫11約40000頭

(すべて不妊・去勢済)

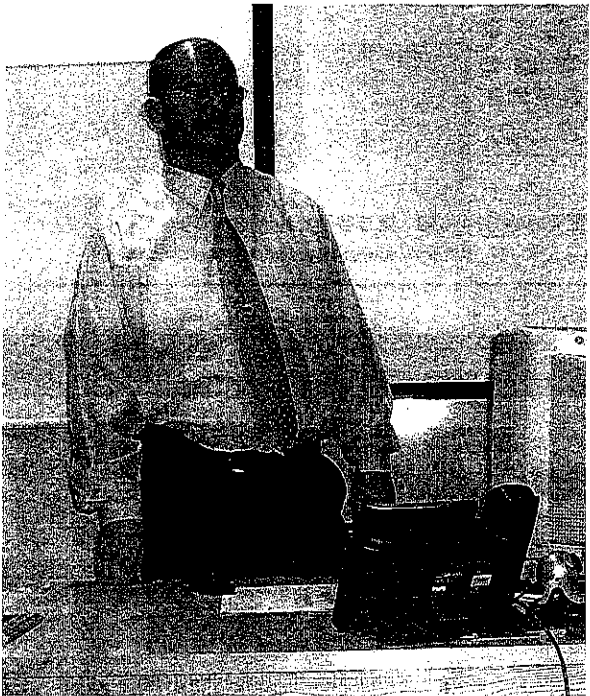
◎RSPCA国際部

1934年に設けられた「RSPCA海外基金」によって支えられ、本部の中に拠点を置いている。(職員9名)

●5つの活動分野

1. 援助

シェルターの建設と修理、獣医薬品と設備・教育とキャンペーン



今回のショートコースを取りまとめたくださった RSPCA インターナショナルのポールさん。

の資料・動物救助用車両・特別事業等(タイの移動式象の診療所等)

現在 80 カ国以上で 200 以上の団体とネットワークを組み、情報共有や相互支援を展開している。

◎動物福祉の基本概念

●福祉の定義

『心身共に十分健康で、幸福であり、環境とも調和している状態』

『動物たちが彼らの生涯のすべてのステージにおいて、その福祉と安寧が最大限に確保されているときにのみ、動物たちを使用することを道徳的に弁護できる』

●福祉の科学

・学問としての動物福祉

1986年ケンブリッジ大学獣医学部において、Donald B. Proumが世界で初めて動物福祉学の教授に任命されて以来、この科目は科学的学問として世界中の学究機関が受け入れ、多くの政府の政策を形作っている。

●パートナーシップを組んで
現地のパートナー(動物福祉団体、教育機関、中央・地方政府機関、コンサルタン)との協調を通じて、優先地域の動物福祉の基準の向上に焦点を当てている。

●福祉の科学的基礎
動物の苦痛は科学的に測定できる。
動物の行動は福祉の指標である。
動物の福祉の科学は国際的に認められている。

られた学問である。
多くの政府は動物福祉の部局を持ち、閣僚を配している。

●動物の使用

人間が動物を使用し始めると、そこには乱用やついに虐待に至る可能性があることを認識しなければならぬ。動物の使用そのものが、動物福祉の必要性を生み出している。

動物の使用は人間に恩恵をもたらすこともあるが、しばしばそこに伴っている動物たちの犠牲にして苦痛を与えることもある。

●苦痛

苦痛は広範な感情の不安な状態と定義付けることができる。それらは痛み、不快、傷害、疾病、失調、極度の疲労、恐怖、欲求不満、社会的仲間の喪失、その他人間が気づいていない苦痛の状態として現れる。

●虐待

●定義
「不必要な苦痛を与える」
●原因
①意図的な虐待行為を行う
②適切な世話を与えることを怠る
③適切な世話を与えない
④やむを得なければならぬことをやらない。

ニーズ(生理的・環境的・心理的・社会的)は人間と共有している。

●飼育下あるいは人間によって制限された環境にいる動物たちは、これらの基本的ニーズを満たすことはできない。これらの状況において、人間はそのような動物ができる限り快適に、そしてできる限り苦痛を受けずに生活ができるようにする義務がある。人間が野生動物の生息地をさらに侵略して彼らの生存を脅かしているがゆえに、我々は彼らの福祉にも責任がある。

●5つの自由(5 Freedoms)

- 1. 飢えと渇きからの自由
- 2. 不快からの自由
- 3. 痛み、負傷、病気からの自由
- 4. 恐怖や抑圧からの自由
- 5. 自然な行動をする自由

もともと、農業動物の福祉基準として提唱されたものであるが、現在では、動物園やその他の環境にいる動物たちに世界中で広く採用されている。世界獣医学協会(WVA)においてもこの5フリーダムは動物福祉の基本として認識されている。

◎RSPCA インспекター(査察員)

●仕事

RSPCA(協会)に通報される動物虐待の疑いに関わる相談を受けて査察したり、適切と判断される場合は、裁判申請書を提出する。裁判所への出廷もある。動物が苦痛を受けている、または動物が苦痛を受ける可能性があるというすべての通報に応じ、適切な助

掲載のお申し込みをお待ちします。

募(集) 共に暮らす家族(動物たち)のご自慢の写真



申込期限

2004年 7月末

2005年版 JAWS オリジナルカレンダー

けを開始する。動物の福祉を護るために、動物が扱われている施設に出向く。一般市民、マスコミ、または協会と交流のある個人や機関と接し、協会や査察部の名声を向上させる。

●インспекター・トレーニングコース

約6カ月間のこの養成コースには、多くの男女が応募されるが、インспекターの仕事がいかに心身共にハードであるかを教えられ、綿密な調査にも答え、知性・活力・熱意を面接され、健康診断で過酷な仕事に耐えられるか判断された後、許可される。

ちなみに2002年には、3150名の応募があったが、入学を許可されたのは24名であった。コース内容は動物関連及びそ

他の英国法、獣医学の基礎、それぞれの動物種について、種ごとの安全な扱い方とその福祉、救護方法、虐待について、査察の方法(質問の仕方、証拠の集め方も含む)、安楽死について、記録・書類の作成方法、対人関係能力とインспекター間及びその他の方々との間の協関係構築について等々。及び2カ月のフィールド実習。

●査察の手順

査察に入る時には五感を働かせ、目で見るものだけでなく、臭いや音にも神経をたぎませ、その全体状況(周辺環境も)を把握しつつ、動物の状態を把握する。必要によっては同僚のインспекター・獣医師・警察官の応援も頼む。ほとんどのケースは飼育状態の改善指導や配慮の説得に止まる



RSPCA本部ビル真中のホール



インスペクターと車の中の装備

ことが多い。

● 査察時の質問

状況全体を把握するために、オープンな質問方法（詳しく教えて下さい）や「段階を追って一つずつ教えて下さい」等）を採用。クローズド質問（「はい」「いいえ」で答えられる質問）はさける。返答は一語一語記録する。誘導質問や、バイアスをかけた片寄った質問はしない。

特定の情報を得るためには、5 W 1 H（誰が、何を、なぜ、いつ、どこで、どのように）の質問が重要。

査察に向かう時には服装はきちっとしているかを確認し、礼儀正しく、相手に明確に話す。

● 英国法

動物関連法だけでなく、インスペクター用法律ハンドブック3冊にもなるほど数多くある。現行の英国動物保護法（1911）でも動物虐待の定義は細かく、日本の「動物愛法」より整っているが、英国では来年この法律の改正が予定されている。その主なポイントとして、虐待を未然に防ぐために、「動物の所有・占有者は、『5フリーダム』にのっとった適切な世話を与えなければならない」と法律で義務化することをRSPCAは求めている。

実際、インスペクターがこの『5

フリーダム』に基づいた飼育状況評価シートにチェックを入れ、相手に改善を指導したケースでは次回には改善されていることが多いという結果が出てきている。

◎ 安楽死

● 安楽死とは動物に肉体的・精神的ストレスを与えることを最小限にした方法による死である。

● その方法は種によって異なるので種によって認められた方法以外では使ってはならない。

● コンパニオン・アニマルの安楽死を決断する理由（健康な動物の安楽死は最小限にする）

① 治療不可能な病気や多大な苦痛を与えている負傷

② 獣医師が治療を与えることが苦痛を与えることになるかと判断した病気

③ 病気は治癒するかも知れないが、その動物のQOLは確保できない。

④ 高齢でその動物のQOLがかなり低下している。

⑤ 性格的に人と共に暮らせない。特に強度の咬みつき。

⑥ 長期間劣悪な飼育管理下にあったため、元の健康状態に戻るのが不可能。

⑦ 努力するも新しい飼い主が見つ

かる希望が見えない。
⑧ 飼い主からの要望。
⑨ 野外にいるホームレス動物の個体数管理。

◎ 教育

● 目的

・ 周りの人間の態度と行動を動物に良いように変える。
・ 動物への尊敬の意識と責任感を育てる。

・ 動物のニーズとそれを我々が提供しなければならないことに焦点を当てる。

学校教育に動物福祉教育を取り入れてもらうために、教育情報を普及させ、電話相談を受けつけ、アドバイスをする。

教育の対象は子ども・学校・一般・スペシャリスト（獣医師や犬監視員等）

スタッフは全員教師の資格を持っている。

● 動物福祉と環境

「環境全体を大切にするために個々の動物に愛情を注ぐ目を持たなければ環境全体は見れない。」

● 何が重要か？

・ 人間には他の動物と接点を持つて生きていかざるを得ないことを認識させる。
・ 動物のことを学ぶことが環境の大切さを気づかせる。

・ 動物のことを学ぶことが生命の価値を教える。
・ 動物のことを学ぶことは道徳教育の助けとなる。

・ 養育の能力・コミュニケーション能力・その他の生活に必要な能力を動物を通して向上させる。

「小さい子どもに教育することは、動物に対する共感度を上げて

人格形成にうまくつなげていくことができる。」

● 学校教育

学校教育カリキュラム（全国共通）の中に動物についての時間ができるだけとれるようにする。それは、新たに動物のことだけを教える時間が作り出せなくても、毎日の授業（国語・算数・歴史・理科・環境・音楽やアート）の中にいろいろな形で入れ込むことができる。

◇ 動物にやさしい学校（学校全体を網羅した動物福祉教育）

④ 学校の環境と方針が動物にどんな影響を与えるか。
（リサイクル↓環境全体に影響↓動物に影響）

◇ 動物とのふれあいは、その動物のニーズ・福祉をまず第一に考える。（学校で動物のことを教える時に必ず動物がいなければならぬことはない。ぬいぐるみやビデオ等も使える。）

◇ 学校は飼えるところではないので、RSPCAでは学校でペットを飼うことに反対している。
◇ 教えるときには、ペット・野生生物・実験動物・畜産動物のバランスをとる。

◇ 教師用の教育パックを提供し、Webでも資料提供している。

● 簡単な動物規定

・ すべての動物（大きい動物も小さい動物も）の尊敬を守る。
・ 彼らのニーズを理解する
・ 動物の近くでは静かにそしてゆっくり動く。
・ 野生動物にはさわらない。
・ 野生動物をその場所から取り除かない。
・ 石や丸太や落ち葉を移動させ

報告会のご案内（参加無料）

大阪会場 5月15日

時間：10:30～12:30 / 13:30～17:30

場所：大阪市立中央区民センター

大阪市中央区久太郎町1-2-27
〒541-8518 ☎03-6267-0201

東京会場 5月29日

時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00

場所：ヤマザキ学園

〒151-0046 渋谷区松涛2-16-15

◎ 報告者

- 湯木麻里（神戸市）
- 藤井敬子（奈良県）
- 西尾香子（三重県）
- 小島恵子（名古屋市）

◎ コーディネーター

山口千津子（日本動物福祉協会）

◎ 報告者

- 対馬美香子（東京都）
- 岸野節子（東京都動物愛護推進員）
- 矢崎 潤（東京都動物愛護推進員）

◎ コーディネーター

山口千津子（日本動物福祉協会）

● お申込み（会場の席数の関係上、事前申込とさせていただきます）
郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望会場をご記入の上、FAXあるいは葉書にて（社）日本動物福祉協会
〒106-8663 東京都港区元麻布3-1-38 第5谷沢ビル FAX03-3478-1945
● お問い合わせは ☎ 03-3405-5681 担当：山口・白井までお願いいたします。



今回のコース参加者（RSPCA本部前で）

ない。
安全を守り野外で活動した後は手を洗う。【次号に続く】

以上、今回は紙面の都合上、授業の部分のみの報告となりました。3カ所のアニマル・シェルターの報告は次のJAWSレポートNo.47に掲載させていただきます。楽しみにお待ち下さい。5月にはこのRSPCAショートコースの参加者による報告会を左記の通り東京と大阪で開催いたします。お時間ございましたらぜひお出かけ下さい。（文まどめ・JAWS山口千津子）